次号予告 2005年12月号

特集1 UML,SystemCから始めるASIC/システムLSI開発
～脱"RTL設計者"のススメ～

特集2 アナログ/ミックスト・シグナル基板も"プラットホーム"
～アナログ・プログラマブル・デバイスを活用して多様な基板を1枚に集約～

(2005年11月10日発売／予価1,240円)

■特集1では，ASIC/システムLSI開発の話題を取り上げます．ソフトウェアのシステム・インテグレーションの世界では，システム開発や管理運用などを海外の事業者に委託する「オフショア開発」が進んでいます．この波は，徐々にハードウェアの世界にも押し寄せています．今後の設計者は，ただ与えられた仕様どおりにモノを作るだけでは，海外の安い人件費に対抗できません．RTLに加えて，より上流のシステム・レベルや仕様検討のスキルも求められます．次号の特集1では，仕様を定義し，システム機能を評価し，ASIC化するまでの一連の流れを解説します．仕様定義にはUML（unified modeling language）を，システム評価にはSystemCを利用します．■特集2はアナログ・プログラマブル・デバイスの話題です．このデバイスは，FPGAのようにユーザが手元で回路構成を指定できるアナログLSIです．最近では，プリント基板の共通化（プラットホーム化）や省スペース化の目的で活用する事例が増えてきています．

編集後記

●11月11日（金）に第3回の「SystemC & SystemVerilogデザイン・ワークショップ」を開催します（http://www.cqpub.co.jp/tse/）．TLM（transaction level modeling）やアサーションなど，LSI設計・検証に新しい概念が続々と取り入れられつつあります．こうした新しい概念について，弊誌の筆者陣が直々に対面でレクチャする機会を設けました．今回の会場は東京・北青山のTEPIAプラザです．興味がおありの方は，ふるってご参加ください．（SN）

●愛・地球博もいよいよ閉幕です．プライベートでは30分待ちがいやで，企業パビリオンをあきらめ，グローバル・コモン（外国館）ばかり回っていました．万国博覧会なのでそれもよかったのですが，閉幕直前の混雑状況を見るともったいなかったかも．ほとんど開催されなかった初代「EXPO ALL STARS PARADE」を見れたのは，ラッキーだったのかもしれません．暗い中の高輝度LED光というのは，写真撮影にはとてもつらい状況でした．（N^2）

●現在，少女マンガの超大作が深夜に放映されています．原作はすべて（未だ最終回に至ってない）持っているのですが，気になってしかたがないので，眠い目をこすりながら必死に起きています．インターネットの掲示板がもとになった話題のドラマも見逃せず，始まる時間までに猛ダッシュで帰宅．先端技術・製品情報に毎日触れているのに，AV録画機器を一つも持っていないことに気づいたきょうこのごろ…．（と）

●VacsがVJEのサポートを終了したという．私が初めて使ったパソコンはNECのPC-9801Fで，VJEとそれに付属していたエディタのVJE Window（MIFESの祖先と言われるマルチウィンドウ/フルスクリーン・エディタ）で原稿を書いていた．以来，PC-9801がDOS/Vに代わり，MS-DOSがWindowsに代わっても，VJEとMIFESはいつも最高の日本語テキスト作成ツールだった．サポートがなくなってもすぐに困るわけではないし，当分は使い続けられるだろう．（み）

●秋が近づいて，少し涼しくなったこのごろ，わが中古バイクもようやく調子が安定してきた．始動もすんなり手間取らず，近くを走る程度ならエンストすることもなく，急な坂道を除いては元気よく走ってくれる．外見もさびをすっかり落としたので，やることも減ってきた．これまで，あんなに手が掛かっていたのが，よい子になってしまって，ちょっと寂しい気がする．今度の連休は思い切って奥多摩あたりへ遠出をしてみようか．期待と不安と，結果はいかに．（英）

●家人が知り合いから「飲むお酢」をもらった．が，あいにく家人は酸っぱいものは苦手なため，私が愛飲（?）することになった．確かに酸っぱいが，慣れてしまえば何のこともない．ブドウの酢と銘打ってあるだけに，味は多少酸化したワインのようである．ところで，肝心かなめの健康への貢献度だが，残念ながら不明としか言いようがない．飲用期間が2週間程度じゃね．（T）

お知らせ

▶ 本誌掲載記事の利用についてのご注意

▶ 投稿歓迎します

本誌に投稿をご希望の方は，連絡先（自宅/勤務先）を明記のうえ，テーマ，内容の概要をレポート用紙1～2枚にまとめて「Design Wave Magazine投稿係」までご送付ください．メールでお送りいただいてもけっこうです（送り先はdwm_edit@cqpub.co.jp）．追って採否をお知らせいたします．なお，採用分には小社規定の原稿料をお支払いいたします．

▶ お問い合わせのご案内

- 在庫の確認，バックナンバーのご購入，年間購読の送付先案内などに関して
  販売部：TEL03-5395-2141
- 広告に関して
  広告部：TEL03-5395-2131
- 記事に関して
  編集部：TEL03-5395-2126

記事の技術的な内容にかかわるご質問は，返信用封筒を同封して編集部宛に郵送してくださるようお願いいたします．ご質問は筆者に回送してお答えいたします．なお，ご質問が記事内容から逸脱したり，コンサルティング的な内容の場合は，お返事できないこともございます．

Design Wave MAGAZINE 2005年11月号

URL http://www.cqpub.co.jp/dwm/
http://www.kumikomi.net/

第10巻 第11号 通巻96号

発行所 CQ出版株式会社
〒170-8461 東京都豊島区巣鴨1-14-2
電話 販売部（03）5395-2141
広告部（03）5395-2132
編集部（03）5395-2126
振替 00100-7-10665

発行人 増田久喜
編集人 中山俊一

2005年11月1日発行

（定価は表四に表示してあります）

表紙デザインAD/田中智康，写真/©Science Museum/SSPL/AFLO
DTP クニメディア㈱
印刷・製本 大日本印刷㈱
Printed in Japan